

「継続は力なり」～クラブ独自性の継承を！～

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

2014 年(平成 26 年)2 月 12 日(水)
第 1167 回 例会報告



事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (村野 静男 SAA)

●開会点鐘 (平畑 秀東会長)

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様

飯島 俊文様

早野 茂夫様

NPO 法人海外に子ども用車椅子を送る会

事務局 志茂 和泰様

●会務報告 (平畑 秀東会長)

昭島市商工会より、今年のくじら祭の実行委員を推薦してくださいとのお知らせがまいりましたので、次年度の社会奉仕委員長を推薦いたしました。

●幹事報告 (伊藤 満雄幹事)

3 月 26 日(水)東京国立ロータリークラブ創立 45 周年記念式典が開催されますので、皆様奮ってご出席ください。

●ご挨拶

NPO 法人海外に子ども用車椅子を送る会
事務局 志茂 和泰様



2008 年から 5 年間に亘り、皆様のご支援のお陰で、海外の子供達に車椅子を送る事が出来ました。改めまして、感謝とお礼を申し上げます。

ロータリークラブさんのご紹介で、2008 年と 2010 年にパラグアイに車椅子を送りました。そして、

2010 年のクリスマスパーティーに大使が来られて、私どもの森田会長もご招待をいただき、その時に大変盛り上がりまして、もう一回送るからという約束をしました。その後、スケジュールの都合等でなかなか実現出来ずにおりましたが、今年は大使との約束を果たさなければならないという事で、是非ともロータリークラブさんのご協力とご支援をいただければと思います。

●卓話「再生可能なエネルギーの利用について」
～スマートコミュニティの展開状況～
Q&T マネジメント研究所
経営・環境コンサルタント 代表 飯島 俊文様

※講師紹介(早野 茂夫様)



元会員の早野です。

本日の講師の先生は、37 年間コニカミノルタに勤めていらっしゃいました。技術畑一本でやってこられた方です。その後、ノーリツ鋼機に引き抜かれ、専務を務めていらっしゃいました。退職され、現在は色々な所で講演をされており、先日も横浜のロータリークラブで講演をされたそうです。今日は、分かり易くお話していただけたと思いますので、ご清聴願います。

※卓話



I、はじめに

1、日本では従来から「化石燃料から非化石へ」という流れの中で CO2 削減、省エネの取り組みが進められてきましたが、東日本大震災における原発事故を受けて「縮原発」または「脱原発」というテーマが急浮上しています。

2、クリーンでスマートなライフスタイルを実現するためには、再生可能エネルギーの積極的な導入と、エネルギー使用の効率化を同時に達成することが必要となっています。このため、住宅やビル、工場等に新たな技術を導入し、地域において総合的なエネルギーマネジメントを展開する「スマートコミュニティ(スマートシティ)」の形成を促進していくことが重要です。そして、世界規模で多数のスマートコミュニティ(シティ)プロジェクトが動き始めています。

3、スマートコミュニティは、エネルギー効率の向上、省資源化の徹底、市民のライフスタイルの転換などを複合的に組み合わせた環境配慮型の街です。その創造と運用には多くの課題があり、エネルギー、情報通信、水、交通、廃棄物などあらゆる分野における最新技術やシステム/ソリューションを総合的に計画することで、街の

機能として全体最適化することが不可欠とされています。

4、エネルギーと ICT を融合して賢い都市をつくる。それは広大なフロンティアであり、新しい産業創造への期待も大きい。スマートシティ領域ではこれまで様々な実証実験が行われてきたが、その成果を踏まえてすでに社会実装のフェーズに突入しています。

II、スマートコミュニティ

1、環境配慮型都市（スマートシティ/スマートコミュニティ）は、環境・経済・社会の三つの価値創造に注目したまちづくりをしている。

2、スマートシティ/スマートコミュニティの構成に必要な「要素」は、主に以下の6つからなっている。

（1）エネルギー量の見える化を実現する「EMS（エネルギー・マネジメントシステム）」

（2）ビルのエネルギー管理を自動管理「スマートビル」

（3）住宅のエネルギーの自動管理を行う「スマートハウス」

（4）電気自動車（EV）や高速道路情報システム（ITS）等を含めた「次世代自動車インフラ」

（5）再生可能エネルギーと蓄電池との連携で電力安定供給を可能とする「分散電源システム」

（6）スマートコミュニティを支える「クラウド基盤」

復興にあたってのスマートシティ/スマートコミュニティを全体として機能させるためには、エネルギー網のインフラを整備することが核となる。それらを支えるのがEMSである。再生可能エネルギーの変動に合わせて需給バランスを調整し、電力の供給量を最適化する役割を担う。地域内の電力を制御するシステムはCEMSと呼ばれている。

3、スマートシティ創造で、これからは需要側でも省エネ・節電と再生可能エネルギーを取り込み、大規模集中電源と需要側の双方向で管理する電力の新しい系統制御を行っていく補完関係が進む。一方、地域特性に合わせた新しい経済モデルが創出されることも期待できる。

4、都市全体を省エネルギー、CO2 低排出の構造とすることが可能な構想で、政府が掲げる「2020年にCO2を1990年比25%削減」という目標の鍵となる。世界各国に実験的にスマートグリッドを導入されたスマートシティが存在し、社会的な効果を実証するために現在も研究が続けられている。

III、再生可能エネルギー

1、エネルギーの動向：国際・国内エネルギー動向

2、再生可能エネルギー

IV、地方自治体の事例紹介

V、総括

1、再生可能エネルギー活用の為の技術革新が引き続き地球環境問題で非常に重要なのは、エネルギー問題。石油や石炭などの化石燃料は長くは持たないのは確実。エネルギー問題に関しては、再生可能エネルギーへ転換が考えられている。しかし、今後再生可能エネルギーを活用する為の問題は抽出されているが、その中で地方自治体の役割は、地域の特長を生かした実用化の促進などが期待される。

2、地域経済活動のプラスに～自律分散型～地産地消へ例）バイオマス、小水力、地域アグリゲータ創設等
3、「電力システム改革～電力市場改革」の課題

1）小売り全面自由化

2）発送電分離

3）送電網の広域運用・風力・太陽光：送電網との接続*規制緩和：農地規制

4、エネルギー政策：安全・安心・安価を念頭に置いて

・省エネ×再生可能エネルギーを並列で検討することが重要

・自律・分散・多様化を推進する。

※謝辞（伊藤 満雄会長エレクト）

飯島先生、本日はありがとうございました。日本がこれから進むのは、スマートコミュニティしかないと思います。資源も少ない国がどうやって生き残っていけば良いのか、私達もこれから勉強していきたいと思います。

●ニコニコBOX発表（植田 耕司親睦委員）

◎平畑会長

飯島様、卓話ありがとうございました。早野様ご紹介ありがとうございました。

○伊藤幹事

飯島様 本日の卓話ありがとうございました

・佐々木会員

早野さんご来場ありがとうございます。

●出席報告（田畑 勝久出席委員長）

会員数 50名 出席義務会員 48名

本日の出席 20名（メイクによる出席者数を除く）

●委員会報告

★岡野 景子親睦委員長



親睦旅行の日程が決まりましたので、お知らせいたします。5月24日（土）、25日（日）一泊二日、バスでの移動です。場所は、静岡県三島市ロータリー米山梅吉記念館、その他三保の松原周辺です。詳細につきましては、後日お知らせいたします。

★渡邊 信義国際奉仕委員長



4月19日（土）、20日（日）第15回ロータリー国際囲碁大会が台湾で開催されます。参加希望の方は、事務局までお申し込みをお願いします。

●次週例会予定（前澤 外喜男プログラム委員）

2月19日（水）「新会員卓話」浅見 勇会員

●閉会点鐘（平畑 秀東会長）